

2022年8月23日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

工期短縮や作業環境の改善に向けた昼間作業の実施について

- JR東日本では、安全・安定した輸送と快適なサービスを提供するため、様々な鉄道工事を実施しています。
- こうした鉄道工事の多くは、列車が運行している昼間の施工が難しく、終電から始発までの夜間の短い作業時間で行われているため、作業の効率面や工期の設定に制限が生じています。
- このため、作業を昼間に変更し作業時間を確保することで、工期短縮やコストダウン、将来的な労働人口の減少を見据えた工事従事者の「働き方改革」を目指しています。
- 現在、取り組みの一環として、常磐線我孫子駅で昼間作業によるホームの改良工事を実施しています。
- 工事期間中は、ご利用のお客さまにご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 概要

場 所：常磐線 我孫子駅 6・7番線ホーム

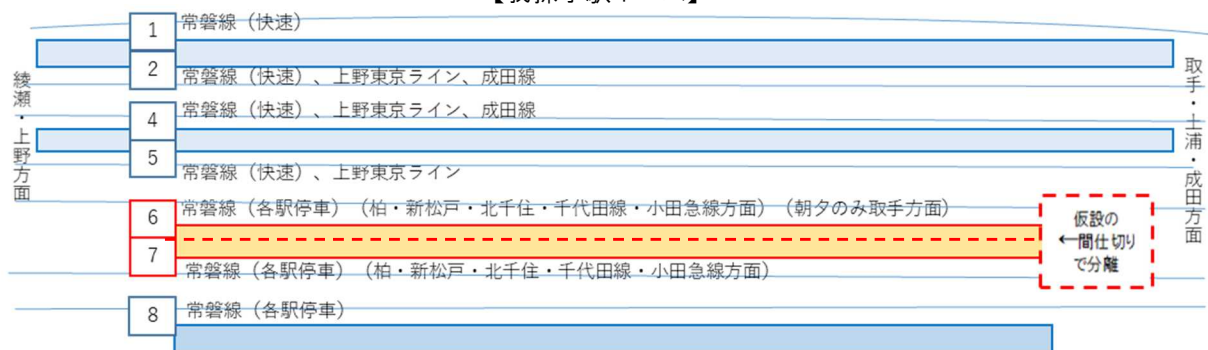
作業時間：10時30分頃～16時30分頃

施工方法 (1) 列車の発着番線を変更し、ダイヤ乱れが発生した際の対応を調整したことで作業時間を拡大。
(2) ホーム上のお客さまご利用箇所と作業箇所を仮設の間仕切りで分離。

作業内容：既設ホーム撤去、コンクリート床版新設、点状ブロック設置、舗装など

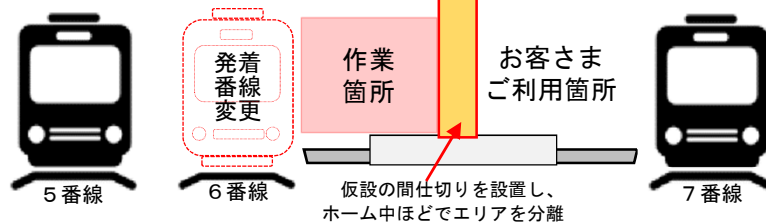
工事期間：2021年9月～2022年12月(予定)

【我孫子駅ホーム】



2 作業状況

施工イメージ



作業中

【仮設の間仕切りを設置しエリアを分離】



作業終了時【仮設の間仕切りを格納】

